



コンクール出場と更なる飛躍を願って激励 「第15回全日本バツハコンクール出場報告」

3月13日、第15回日本バツハコンクールに出場した2名の選手を激励するため、出場報告会が開催されました。

金沢小学校5年生 平林 明理(ひらばやし あかり)さんと、長峰中学校1年生 藤澤 心音(ふじさわ ここね)さんは、2月8日(土)、2月9日(日)および2月16日(日)に行われた第15回日本バツハコンクール(全国大会)で見事金賞を受賞しました。報告会では、出場部門や感想をはっきりと報告する力強い姿が印象的な両名に、市長・教育長から、更なる飛躍を願う激励の言葉が贈られました。

美味しいきのこのが収穫できるように きのこの菌打ち講習会

3月16日、茅野市運動公園で「きのこの菌打ち講習会」が開催されました。当日は、雪が舞う中での開催でしたが、40人が参加し、きのこの菌打ち作業を楽しみました。

講習会では、NPO法人八ヶ岳森林文化の会が講師を務め、参加者は、ほだ木にドリルで等間隔に穴を開け、開けた穴にシイタケの菌駒を木槌などを使って打ち込みました。

参加者からは、「子どもと楽しく、きのこの菌打ち体験ができました」や「都会では体験できない貴重な体験でした」など、きのこの菌打ちを楽しむ声が聞こえました。



地元の看板を背負ってスキー界に貢献 伊藤 浩樹選手 ナショナルデモンストレーター認定を市長に報告

3月14日、茅野市スキー協会所属の伊藤浩樹選手が公益財団法人全日本スキー連盟(SAJ)が主催する第40回スキーデモンストレーター選考会(デモ選)で、全国で30人が選ばれるナショナルデモンストレーターに茅野市で初めて選ばれたことを市長に報告しました。

ナショナルデモンストレーターは、実技審査とレポート審査により人格、識見、技術共に優れ、幅広くスキー界に貢献できる人物が、2年間の任期でスノースポーツの普及に務めることを目的として選ばれます。

伊藤選手は、市内のピラタス蓼科スノーリゾートをホームゲレンデとして幼少期より活動しており、現在もスキーレッスンやゲレンデ整備を行っています。今後も、地元を拠点に、スキー界に貢献する活動を更に行っていくとのことです。

